

11月11日イギリスでは赤いポピーの花飾りを着けます。

文： JGS 理事 藤田益久



11月11日は戦没者追悼記念日 [Remembrance Day](#) - 平和が宣言された日-です。

英国王ジョージ

5世によって定

められた記念日で、11月11日11時には国民黙とうをささげます。この日の一週間くらい前から胸元にポピーの花(紙でできたもの)を着けている人がたくさんいます。これは、伝統的に、第一次および第二次世界大戦とその後のフォークランド紛争や湾岸戦争で亡くなった軍人を追悼して行われています。この日は別名、「ポピー(ケシの花)の日」ともいわれます。



なぜポピーかという  
と・・・

第一次世界大戦中に多くの兵士が無くなった、フランダースとピカルディー地域(ベルギー、北フランス)、戦後そこに一面の赤いポピーが咲いたそうです。それを見た戦医ジョン・マクレイがその

光景に心を打たれて作った詩が、「ポピーの日」の由来となったようです。この紙製のポピーは退役軍人によって作られており、全英在郷軍人会(退役軍人の組織)の代表らによって販売されています。胸元用の一輪のポピーや、リースになったものなど様々です。